

日付	セッション (* 時間割調整中)	お名前	所属組織	発表題目	演題 番号
10/24 (土)	口演セッション1 (09:00~10:00)	高雄元晴	東海大学	見た目の手の質感の違いにより触二点閾も変化する	O1-1
		川島淨子	東海大学	色の短期記憶および感覚記憶に関する認知科学研究	O1-2
		赤間章英	前橋工科大学	記憶時のヒト型図形が配色記憶の想起に与える影響	O1-3
		金 京室	北海道文教大学	青色光への曝露下および曝露後の聴覚記憶遂行に与える影響	O1-4
	シンポジウム1 「気候変動と生理人類学」 (10:00~11:25)	高倉潤也	国立環境研究所	気候変動への対処と生理人類学研究	S1-1
		古澤拓郎	京都大学	海面上昇と適応策がオセアニア地域の健康にもたらす影響	S1-2
		井上 芳光	大阪国際大学	地球温暖化と高齢者の発汗能力	S1-3
		若林 齊	北海道大学	水害時の身体パフォーマンス低下に対する生理的適応戦略	S1-4
	口演セッション2 (13:00~14:00)	山崎和彦	実践女子大学	下臨界気温の個人差に関する基礎的研究	O2-1
		米代武司	東京大学	褐色脂肪における分岐鎖アミノ酸代謝と寒冷適応	O2-2
		松波 勝	聖カタリナ大学	夏季の屋外におけるマスク着用時の体温変化と主観的感覚	O2-3
		野原住織	ライオン歯科衛生研究所	香りが唾液分泌量に及ぼす影響	O2-4
	ポスターセッション1 (14:10~15:50) * 14:10~14:40フラッシュ アップ	中出美代	東海学園大学	3~5歳の幼児を持つ母親の社会経済的状況と幼児の睡眠・朝食習慣	P1-01
		初治沙矢香	京都大学	高齢化の進む地域における中高齢者の睡眠と糖尿病に関する調査	P1-02
		江藤太亮	九州大学	水晶体の分光透過率と瞳孔径が夜の光曝露によるメラトニン抑制に及ぼす影響：子どもと大人の比較	P1-03
		水野 嶺	東海光学	ヘッドセット型脳波計による両眼視の個人特性評価	P1-04
		永田浩太郎	九州大学	照度の違いが照明環境に対する主観的評価に与える影響の世代比較	P1-05
		竹内日登美	高知大学	スマートフォンの夜間使用と学生の視力低下の関係	P1-06
		鈴木新一	北海道大学	体温の日内変動が手部寒冷曝露に伴う末梢部皮膚温応答におよぼす影響	P1-07
		江原佑	北海道大学	軽度寒冷環境におけるグレープフルーツ芳香油は代謝を亢進させるか？	P1-08
		津田直樹	九州大学	脳血流動態を用いた局所温冷刺激に対する温熱的快適性の評価	P1-09
		中村大智	九州大学	下肢部への陰圧負荷が循環動態に与える影響	P1-10
		劉欣欣	労働安全衛生総合研究所	高齢者の模擬長時間労働時の心血管系反応	P1-11
		清水悠路	長崎大学	VEGF一塩基多型(rs3025020)と高血圧の関係	P1-12
泉敏郎		帝京平成大学	自転車エルゴメーター駆動時の主観的運動強度と実測心拍数との関係(第7報)	P1-13	
上森浩晃		九州大学	呼吸周期に同期して起こる脳波変化についての研究	P1-14	
申響敬		九州大学	ミラーシステム活動と自己弁別機能の関連性についての検討	P1-15	
上村 凪		九州大学	書字動作及び文字画像観察が脳活動に与える影響	P1-16	
金一迪		東京大学	木材の表面色が接触温冷感に与える影響	P1-17	
仲村匡司		京都大学	節の量が異なる木質内装壁面画像の観察が及ぼす生理的および心理的影響	P1-18	
特別講演(16:00~17:00)	松本 孝朗	中京大学	2020東京オリンピック・パラリンピックと暑熱対策	-	
10/25 (日)	口演セッション3 (09:30~10:30)	下村義弘	千葉大学	遊び度の評価方法	O3-1
		太田英伸	秋田大学	乳幼児突然死症候群を予防する仰向け寝支援オンラインシステム	O3-2
		上山智大	静岡大学	心拍変動性とQT間隔変動性から構築された疑似心電図モデルの提案	O3-3
		小山冬樹	労働安全衛生総合研究所	タッピングテストによる精神的疲労評価の実験的検討	O3-4
	シンポジウム2 「生理人類学における個人差 研究の意義」 (10:40~12:00)	早野順一郎	名古屋市立大学	フィールド研究における心拍変動の個人差：低周波成分の起立反応	S2-1
		石橋圭太	千葉大学	実験室実験における生理反応からみた個人差	S2-2
		太田博樹	東京大学	ゲノムからみた個人差	S2-3
		大草孝介	横浜市立大学	統計学における個人差のモデリング：階層ベイズモデルの視点から	S2-4
	口演セッション4 (13:00~14:15)	鶴彩美	九州大学	母親と非母親における末梢オキシシンおよびプロラクチンと共感的反応に関する研究	O4-1
		山本泰誠	滋賀大学	午睡時の香り呈示が幼児の活動変数や睡眠変数に及ぼす影響	O4-2
		関隼涼	東海大学	重心動揺を指標とした視覚誘導性自己運動感覚の評価	O4-3
		跡見友章	杏林大学	立位での重心制御における頭部および体幹部の安定化戦略	O4-4
		富田義人	東京保健医療専門職大学	運動器疾患を有する高齢者のサルコペニアと呼吸機能との関連	O4-5
	ポスターセッション2 (14:25~16:05) * 14:25~14:55フラッシュ アップ	鬼丸雅史	九州大学	客観的生理指標を用いた入眠時心像の推定に関する研究	P2-01
		高山航希	九州大学	入眠期に見られる緩徐眼球運動の特性に関する研究	P2-02
		梶原真優	九州大学	断眠による眠気が顔刺激への注意へ与える影響	P2-03
		河野寛之	九州大学	筋出力を用いた夜間断眠時の目的遂行能力	P2-04
		佐藤信吾	北海道大学	照明の色温度と壁の配色の組み合わせがヒトの瞳孔の対光反射に与える影響	P2-05
		桶谷康祐	北海道大学	照明の色温度と壁の配色によるメラノピクルクスの違いと簡易的算出方法の提案	P2-06
		渡邊智	株式会社バスクリン	無機塩含有炭酸ガス浴のストレス、疲労感への影響	P2-07
		三浦愛子	北海道大学	暑熱環境におけるハッカ精油希釈溶液の塗布が生体応答に及ぼす影響	P2-08
		澤崎太一	九州大学	低圧低酸素環境への短期間反復曝露に対する生理的变化	P2-09
		島啓志	東京大学	実験開始時の疲労感が急性ストレス課題時における生理指標の挙動に及ぼす影響	P2-10
		郝明	中国嶺南医学院	中国東北部農村小学生向けの手洗評価基準の制定	P2-11
佐藤寿実		北海道大学	日本人女子大学生の体位認識とライフスタイルおよび主観的健康観	P2-12	
仲間大哲		九州大学	新型コロナウイルス流行下の主観的健康感の変化と生活習慣および性格特性との関連	P2-13	
中山友月		富山大学	IAPSを用いた情動刺激による顔面皮膚温の変化	P2-14	
趙ヒョンジュ		千葉大学	山遠景の視覚刺激が及ぼす生理的影響	P2-15	
池井晴美	千葉大学	滝景観画像による視覚刺激が及ぼす生理的・心理的影響	P2-16		
池井晴美	千葉大学	海辺の景観画像による視覚刺激が及ぼす心理的・生理的影響—タイプAおよびタイプB行動パターンによる個人差の検討—	P2-17		